



平成19年3月期 第3四半期財務・業績の概況（非連結）

平成19年2月9日

会社名 イフジ産業株式会社

(JASDAQ・コード番号: 2924)

(URL <http://www.ifuji.co.jp/>)

問合せ先 代表者役職 代表取締役社長

TEL: (092) 938 - 4561 (代表)

氏名 藤井 徳夫

責任者役職 常務取締役経営企画室長

氏名 仁田坂 功

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

(内容)

法人税等の計上基準および、その他影響額が僅少なものについては、一部に簡便的な方法を採用しております。

最近事業年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

2. 平成19年3月期第3四半期財務・業績の概況（平成18年4月1日～平成18年12月31日）

(1) 経営成績（非連結）の進捗状況

(注)金額は百万円未満を切り捨て

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第3四半期	6,947	(1.9)	81	(46.2)	82	(41.9)	30	()
18年3月期第3四半期	6,817	(4.8)	150	(23.6)	141	(17.0)	271	()
(参考)18年3月期	8,886		172		165		260	

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
19年3月期第3四半期	5.51	
18年3月期第3四半期	48.84	
(参考)18年3月期	46.90	

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

[経営成績（非連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期における当社の経営成績につきましては、最需要期である11～12月の販売数量が月間の販売数量としては過去最高になるなど好調を維持し、前年同期比6.9%増となりました。

売上高につきましては、前年同期比1.9%増の6,947百万円となりました。品目別売上高の内訳は、鶏卵相場が4～12月の平均(JA全農たまご東京M基準値)で前年同期に比べ約3.6%(3円)低く推移したため、販売単価が下落し、液卵売上高が、前年同期比0.2%減の6,356百万円となりました。また、加工品売上高は、ゆで卵や茶碗蒸しベースの販売が好調であったことから前年同期比26.8%増の272百万円となりました。その他売上高は、鶏卵販売の増加により前年同期比36.3%増の318百万円となりました。

損益面につきましては、期を通じて鶏卵需給がタイトに推移し十分な原料買付けができませんでした。そのため、需要期である11～12月に販売数量が好調に推移する中で、スポット買いにて原料手当てをせざるを得なくなり、その結果原料仕入コストが増加しました。また、販売増に伴う運賃の増加等により販売費及び一般管理費が前年同期比60百万円増加したため、営業利益は前年同期比46.2%減の81百万円、経常利益は同41.9%減の82百万円、四半期純利益は30百万円となりました。

(2) 財政状態（非連結）の変動状況

(注)金額は百万円未満を切り捨て

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第3四半期	6,790	2,264	33.4	407.56
18年3月期第3四半期	7,541	2,278	30.2	410.05
(参考)18年3月期	6,717	2,297	34.2	413.48

(注)平成18年3月期第3四半期及び平成18年3月期の数値につきましては、従来の「株主資本」を「純資産」の欄に、「株主資本比率」を「自己資本比率」の欄に、「1株当たり株主資本」を「1株当たり純資産」の欄に記載しております。

[財政状態（非連結）の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期における総資産は前期末と比較して72百万円増加し6,790百万円となりました。主な要因は、売掛金の増加559百万円及びたな卸資産の減少390百万円等により、流動資産が193百万円増加したことや、減価償却等により固定資産が120百万円減少したことによるものであります。純資産は前期末と比較し32百万円減少いたしました。この結果、自己資本比率は前期末の34.2%から33.4%となりました。

3. 平成19年3月期の業績予想（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり年間配当金		
				中間	期末	
通期	百万円	百万円	百万円	円 銭	円 銭	円 銭
	9,100	56	10		5.00	5.00

(参考)1株当たり予想当期純利益(通期) 1円80銭

通期の業績予想及び配当予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、上記のとおり修正しております。

なお、上記予想に関する事項は、本日（平成19年2月9日）公表の「通期業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

業績予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成しております。実際の業績は、今後、様々な要因によって予想数値と大きく異なる結果となる可能性があります。